

平成31年2月12日
生徒指導支援室

第20回 「小・中・高校生の未来を考える集会」開催報告

- 1 日時 平成31年1月26日(土) 13:00～16:15
- 2 会場 奈良県立教育研究所(2階 大講座室)
- 3 主催 奈良県小・中・高生徒指導連絡会
- 4 共催 奈良県、奈良県教育委員会、奈良県警察
- 5 参加者 県内小・中・高等学校及び特別支援学校等の教職員、保護者、関係機関の関係者等 約230名
- 6 日程
13:00～13:40 開会行事、表彰式
13:40～14:00 活動報告
14:00～14:20 寸劇
14:35～16:05 講演
16:05～16:15 閉会行事

○ 標語及びポスター入賞者の表彰式

本集会の取組の一環として、「いのちを輝かそう～『ともだち』について考えよう～」というテーマで、ポスター及び標語を県内の小・中・高等学校及び特別支援学校等に在籍する児童生徒から募集し、入賞者について、本集会の中で表彰が行われた。

最優秀賞に選ばれた、県立青翔中学校2年 櫻井 大樹(さくらい だいき)さんの作品(標語)と吉野町立吉野北小学校6年 宇井 和(ういのどか)さんの作品(ポスター)を組み合わせたポスターが、今後、県内の小・中・高等学校及び特別支援学校等や関係機関に掲示される。



〈完成したポスター〉



〈堀川教育次長より櫻井さんに賞状の授与〉



〈堀川教育次長より宇井さんに賞状の授与〉

○ 活動報告「奈良県高等学校生徒会連絡会の取組」

(県教育委員会事務局生徒指導支援室生徒指導係 指導主事 丸上 晶)

各校の代表生徒等が一同に集まり、生徒等の社会性や自主性をはぐくむためのボランティア活動や社会参画活動を行っている奈良県高等学校生徒会連絡会の取組として、高校生がスマートフォンの安全利用に関する出前授業を小学校で実施する「スマホ安全教室」や、被災地支援募金活動、清掃活動強調月間、あいさつ強調月間などの活動について報告があった。

○ 寸劇「こんなことになるなんて・・・ ～危険なタップ～」

(奈良県警察本部生活安全部少年課少年サポートセンター)

近年、インターネットの急速な普及により、県内でも未成年者がスマートフォン等の利用による特殊詐欺の被害者や加害者になるケースがある。今回の寸劇を通して、子ども自らが危険を予測し、危険を回避して、安全な行動をとることができるよう指導することの必要性を共有できた。また、学校、保護者及び地域等が子どもを守るために、子どもとしっかり向き合うことの大切さを考える機会となった。

○ 講演「生を見つめる心のケア ～生きる意味を探す子どもたち～」

講師 音羽山観音寺 副住職
県総合医療センターがんサポートチーム 心理士
県教育委員会スクールカウンセラー 佐々木 慈瞳 氏

「死」とは何か? 「生」とは何か? 「いのち」を見つめることの大切さを子どもたちに分かりやすく伝える「命の授業」は、「答え」を教えるのではなく、子どもたちが「問い」を知るための授業である。生きる意味を探す子どもたちに、苦しみを抱えていられる力を育てるために、大人はどのような支援ができるのか。佐々木氏の経験や実践を織り交ぜながら御講演をいただいた。



〈少年サポートセンターによる寸劇〉



〈佐々木氏による講演〉